



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

2026年1月9日 Vol.17

よいことの Weekly Report ために 手を取りあおう



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 I.T.広報委員会

会長:鈴木雅博 / 幹事:堀井実 / 副会長:遠藤直樹 / 会長エレクト:藤田俊和 / 副幹事:岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム

第2654回

1月9日

新年家族例会

担当者 親睦活動委員会

例会場 天勝

先週のプログラム

第2653回

12月19日

クリスマス家族例会

担当者 親睦活動委員会

例会場 LLOYDS

鈴木会長挨拶

皆さんこんばんは
本日は大勢のご参加ありがとうございます。
こちらロイズさんは2回目になります。
前回はアクリル板に仕切られて窮屈な思いをされたり堀井会員が強風で帰って来られなかつたりといろいろありました。
本日はマジックショーと木村会員によるディナーショーと親睦委員の皆様によるゲーム大会。
今年最後の例会になりますのでおおいに盛り上がって楽しんで帰って下さい。
以上です。

ニコニコBOX

本日はありがとうございます。	鈴木佳代様
本日はありがとうございます。	入谷
本日はありがとうございます。	堀井
子どもがお世話になります。	江島
米山メジャードナーピンをいただきました。	加藤
楽しみにしてました！	木村(年)
本日はありがとうございます。	岡田
クリスマス会成功しますように。	吉田
2人目の孫生まれました(男子)。	藤田
妻の誕生祝頂きました。	鳥養

合計10件
本日の合計 55,000円
2025-2026年度累計 416,500円

出席報告

出席委員長:大西一正

会員数 / 44名	出席規準数 / 42名
出席者数 / 29名	欠席者数 / 13名
出席率 / 69.05%	ビジター / 0名
最終出席率 / 12月4日 72.50%	→ 77.50%

1月誕生日の樹

- 3日 野口一臣 会員 ユズリハ(譲葉)
- 16日 辻 隆志 会員 ダイオウショウ(大王松)
- 25日 神原信之介 会員 オウバイ(黄梅)
- 29日 岡村真史 会員 タチカンツバキ(立寒椿)
- 29日 吉田恵美子 会員 タチカンツバキ(立寒椿)
- 30日 山中健治郎 会員 カゴノキ(鹿子の木)

記念樹 -記念日と誕生日365日の+1の樹- 財団法人経済調査会発行より

マイクアップ

12月16日 高松東RC 磯崎
12月16日 高松中央RC 江島

facebook

facebookでたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にや おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

1月9日 今日は何の日

今日生まれの有名人

ブルーマウンテンコーヒーの日/クイズの日/風邪の日	1953年 宗茂・宗猛	1987年 井上真央
1985年 東京・両国に新国技館が落成	1950年 南佳孝	1982年 キャサリン妃
2007年 Appleが初代iPhoneを発表	1938年 大林宣彦	1974年 岡本真夜

誕生花 「ノースポール」花言葉は“誠実・清潔・愛情・輪廻転生”

誕生石 「ガーネット」宝石言葉は“貞操・真実・友愛・忠実・勝利・実り”

Rotary



高松西ロータリークラブ

例会場 JRホテルクレメント高松 高松市浜ノ町1番1号

事務局: TEL(087)813-8376 TEL(087)813-8375

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)



例会スナップ



RI会長からのメッセージ（1月）



職業訓練にとどまらない奉仕

フランチェスコ・アレツツオ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

アメリカ・カリフォルニア州サリナス郊外の自動車修理工場では、若者たちがクラシックカーの修復技術を学んでいます。このプログラムで得られるのはスキルだけではありません。メンター制度を通じ、一部の若者にはギヤングから足を洗い、有意義な仕事へ向かう新たな道筋が生まれています。研修を終えた若者は、資格と実務経験、そして希望を胸に旅立ちます。

1月の「職業奉仕月間」は、専門性を持つ人々が集い、「世界でよいこと」をする力をたたえる機会です。同時に、「高潔性」とは単に行動と発言が一致しているというだけでなく、私たちの一つ一つの行動に表れることを思い起こさせてくれます。

この自動車修理プログラムが成功したのも、高潔性に基づいて築かれたからです。カーメル・バイ・ザ・シー・ロータリークラブの会員は、「地域のニーズは分かっている」と決め付けず、まず耳を傾けました。すると、熟練整備士の不足と、職業訓練を受けていない若者が多いという課題が明らかになりました。技術習得だけでは不十分と判断した彼らは、カウンセリングや支援サービスを職業訓練と並行して提供する非営利団体と連携しました。

これは、「四つのテスト」の実践です。この四つの問い合わせ他者を裁くためではなく、真に効果的で誠実な奉仕へと私たちを導く指針なのです。

ポリオ根絶への取り組みを思い返してみましょう。私たちは40年近く、世界の子どもたちに「この病気をなくす」と約束し続けてきました。数々の困難を前にしても歩みを止めず、今日まで前進してきました。この約束を守り抜く姿勢こそ、高潔性そのものです。

同じ高潔性が、職業奉仕の取り組みにも必要です。今後10年間で新興国では12億人が就労年齢に達しますが、見込まれる新規雇用は4億2,000万人分に過ぎません。長い間経済的な機会から取り残されてきた地域こそ、私たちの支援が求められているのです。

ただし、支援とは私たちの意見を押し付けることではありません。地域のニーズに耳を傾け、パートナーシップを築き、コミュニティーが自ら持続できるプロジェクトを設計することが大切なことです。

皆さんは、人の人生を変える知識と専門性を備えています。どのような職業であれ、皆さんの専門性にロータリーの価値観が加わることで、持続的な変化が生まれます。問われているのは「自分に何か提供できるかどうか」ではなく、「自分のスキルをどう生かして奉仕するか」です。

この1月、クラブとして地域の職業的ニーズにどう応えられるか、改めて考えてみてください。誰かの人生を動かす力を持つスキルは何か。皆さんの人脈を生かして若者たちにどのような扉を開けることができるでしょうか。持続可能な雇用を生むには、どのようなパートナーシップが築けるか。

高潔性を道しるべに、「四つのテスト」と共に歩みましょう。そして、カリフォルニアの若者たち、さらには世界中で職業スキルを必要とする人々を思い、職業奉仕の意義を見つめ直しましょう。

私たちが持つ専門性を人類のために生かし、全ての行動に高潔性を込めていくことを、この月間で共にたたえ合いましょう。

ロータリーの特別月間（1月）

職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

2004年11月の理事会決定59号で決定され、10月を指定されておりましたが、2014年10月理事会で大幅な特別月間の変更がありました。

それに伴って1月へ移行された職業奉仕を強調する月間である。職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援する方法である。

「ロータリーの目的」の第2項は、職業奉仕が基本となるもので、特に以下のことを奨励し、育成する：

- 1 職業上の高い倫理基準を保つこと；
- 1 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること；
- 1 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

（ロータリー章典 8.030.1. 職業奉仕に関する声明より抜粋）

次週のプログラム

第2655回

1月23日

職業奉仕フォーラム

担当者 職業奉仕委員会

例会場 J R ホテルクレメント高松

The Rotary Club of Takamatsu West